

栗城時報

行發日七十
編輯兼發行 栗城時報社
印刷所 栗城時報社
一ヶ月金銀 一ヶ月金銀
廣告料 一行十四字五十銭
日刊(日曜祝祭日)日休刊

候補馬の鍛錬強化

無言の戦士馬も兵器た

四月から愈々法律化する

軍用候補馬の訓練は陸及地銀練會平班を解散せず、六月の備兵に献金したが同君宛に此
方町村の補助を受け昨年四月以検査まで引きつゞき希望馬を銀
程板垣陸相から感謝状が届いた
村を加へ二班に分け熱心な訓練
て産業課渡邊係員は語る
現在の銀練は良馬を問はず全
部に亘つて居り、然も拘束力
が無いので銀練に出馬しな
い者などあつて極めて不徹底
な状態である、四月から愈々
法律化し、適格馬を選んで國
が直接乗り出すことに成るか
ら實績も學ぶことと思ふ、軍
馬國策に添ふため現存の銀
練會は解散せしめない方針で
ある

銃後の赤誠集

綱編みの汗の結晶寄附 拾得金謝禮を 献金

四倉町字仲出七一阿部秀尾氏
いよよさん(五二)は昨年暮から
同町某海産物商の綱編み、粘乾
し等に屈はれ汗の結晶二十圓を
得たので十五日四倉町國防婦人
分會活動資金の一部にと寄附し
た、いよよさんは昨秋も綱編
みに従事して得た金五圓を寄附
したので國婦分會では同女の奇
篤な志に感謝し近く表彰状を贈
る

銀紙と銅貨

市内五丁目アイスキヤンデー屋
吉田屋こと馬目榮二君は昨年か
ら満一ヶ年従業員の喫つた煙草
の銀紙二百圓と、買上げのうち
の銀紙二百圓と、買上げのうち

泥と兵隊

市内材木町出身 栗城軍曹手記

市内材木町出身で中支第一線に
在る土橋部隊軍曹栗城軍士夫君
から十四日市役所宛に同部隊最
近の討伐行日記に綴つた一文
を寄せて来た、泥濘路に苦し
みつゝ執拗な敵兵と戦ふ勇ま
しい皇軍の姿がよく描かれてゐ
るので速載する事とした
二月二十六日發後略
二月二十五日の夕飯頃勤務
者の荒軍曹より一枚の編成表
が渡された。『明日は討伐だ
〇〇と云ふ所だが、敵はたい
したことを居ないらしい』こ
んな事云ひ乍らストロを掴み
話し合ふて居た。『よし、明
日は諸君の武運長久を祈つて
老酒の乾杯だ』と酒番下士の
水野軍曹が、編成に加はら

食料品 銘清世界

清水屋商店

小名濱町。電話六零

現役兵の寄附

市内大字中野字岸出身、栗谷實
君は目下現役中であるが十七日
市の軍事後援會へ金十圓を寄附
して来た

工場協會總會

栗城工場協會平支部は十六日平
野會議室で總會を開き豫算二百
六十六圓を可決、幹事補欠選舉
の結果二階堂重雄氏(湯本)當選
した

産馬組合豫算

石城産馬畜産組合は十七日評
議員會、十八日總會をいづれも
平市團休事務所を開き豫算九千
七百五十九圓を付議する
前年度は上選野村への種付馬
待を受け卒業式に列席した

お花見の下相談

けふ市で土木委員會

平市では十七日午前十一時から遺族慰安の賦課と漫談會を開
き土木委員會を開き、あと一ヶ月備
後に迫つた松ヶ岡公園の櫻花季
施設、觀禮客誘致、歓迎方法を
の他を協議した
大休昨年と同様の豫算で節節
ばん切り等を設備し例年通り
不夜城を現出させることにな
ららしい

湯本愛婦

湯本町愛婦
分會では十組合葬式は二十五日發後で執
七日午後六時から三箇所で軍人行する

地方を 自轉車ドロ

悪運つきて仙臺署へ
相馬郡金谷村金谷生れ前科五犯
折笠重綱(四二)は昨年末から平
市を始め浪江、原町、中村、仙
臺等を股にかけ自轉車専門に十
數臺を窃取、平野で手配中であ
つたが此種仙臺署に捕はれた旨
十七日平野に通知があつた
折笠は昨年十二月一日宮城刑
務所を出所後平仙臺を根城とし
務所を出所後平仙臺を根城とし

石城産看校卒

市内石城産科看護婦學校第三
十九回卒業式は十八日午後一時
折笠を出所後平仙臺を根城とし

唯一人の優等

四倉金成岩吉氏 の長男

四倉町消防組頭、町議金成岩吉
氏長男久君(二四)は十六日東京
昭和醫學專門學校を卒業したが
在學四ヶ年間優等で通し卒業生
三百五十九名中唯一人の優等賞
を授與され金成氏は同校長の招

- ### 産科科(四十一名)
- 伊藤キク、遠等キク、長谷川雅江、猪狩キク子、猪狩シゲ子、橋場スミ子、星トミ子、豊島ニキ子、鎌田マサ子、金成ヤイ、片桐静子、田原和子、大谷英子、大樂スエ子、大樂富美、大樂ツ子、大和田キヨ子、高橋ソウ子、岡部ミキ子、津田サキ、根本テル子、中川キミ、草野タマ子、草野ハツ子、久保田久子、安田房子、矢吹初代、出羽ヨシ、愛川トキ、坂本ミチ子、佐藤ナカ子、佐藤ヨシ子、佐藤ハツ子、佐藤マツ子、木村マツ子、志賀米子、島田光子、經田里、菅本サケ子

▲看護科(六十八名)

- 伊勢テ子、伊藤キク、遠藤キケル、初川菜、長谷川雅江、新妻金子、猪狩キク子、猪狩シゲ子、芳賀カメ子、橋場スミ子、星トミ子、星トシ子、豊島ユキ子、鎌田正子、金成キク子、金成アキ子、片桐静子、高橋ツ子、田原和子、大谷鶴子、大樂スエ子、大樂フミ、大樂ツ子、大和田キヨ子、岡部ミキ子、津田サキ、根本テル子、中川キヨ子、永井ツユ、永井トシ、野崎玉子、草野タマ子、草野ハツ子、草野ハツ子、久保田久子、日下しゆ子、安田房子、矢吹初代、松本花野、松本カ高子、松本チ子、小針ミチ子、甲高ツ子、左近司タマ子、愛川トキ子、佐藤ナカ子、坂本ミチ子、佐藤ハツ子、佐藤ヨシ子、佐藤ハツ子、佐藤マツ子、木村マツ子、志賀米子、島田光子、經田里、菅本サケ子、鈴木キク子、鈴木ヤイ、鈴木アキ

御詠と製品

平二・電三八六番

男女新學期洋服

平二・電三八六番

手長少年

學問村沼の内
宇新町漁夫鈴木某(一八)は去る
十日陸軍記念日でも居ないの
を幸ひ同村小學校へ侵入、職
室から現金六圓余を窃取した外
附近からオートバイ他衣類を盗
んで入費費消したと發覺平野
に檢舉

平市人事錄

○出生 銀治町崎上三平さん
二女カツ子さん、城山字六
間門、當時好間村田島福治
郎さん長男一男

天氣豫報

今晚も明日も北西の風時々
雨模様

四倉短信

自動車協會四倉支部の定期總會
は十九日午後一時から四倉警察
署で開き昭和十三年度決算、ガ
ソリン配給等を協議し終つて副
組合長以下役員改選を行ふ

四倉町字戸前大突不動尊の例
祭は明日(八月二十八日)
執行するが當日午前六時を期し
て皇軍の進軍並に將兵長運武久
祈願の護摩を執行する

四倉管管内容容結核患者の定期
總會は十五日午前十時から開催
役員改選の結果現組合長猪狩正
雄(本町)副組合長佐藤慶次郎、
會計上原孝次郎の三氏重任と決
定した

無火災の榮譽を永遠に

警防團組織を旬日近くに整へ、抑する如き態度は厳に戒むべき二十一日を以つて平市が無火災一ケ年の表彰を受けることに成つた。

火事早い平市に滿一ケ年を通じて記録されるべき火災の皆無たつたことは、後市民の緊張振りを物語るもので、吾人も大いに意を強ふるものであるが、二十日回に入るボヤを大火に至らしめず、ボヤに止めて防火に努めた消防組員の働き、努力を買つてやるべきであると思ふ。

平消防組は、名組頭の高松かつた改井上茂作氏時代から、嶄新な施設と組員の統制ある規律訓練、消火技術等優良な成績を認められ、消防組として最高の榮譽たる表彰旗を授與されてゐることは、組員の名譽たるは論を俟たず、消防に對して常に理解を持つて協力してゐる全市民の誇りとすべきであつて、この表彰旗を恥かしめざるやうな市民自らの義務を遂げるべきは、従後には負はされた吾等の責務である。

この意味に於て、僅々一ケ年の無火災表彰に精神の弛緩することなく、一朝にして國當を爲すに期する、悔るべき火災を永遠に斷つべき覺悟が必要であらう。

新たに生れる「警防團」の結成に依つて、消防組が解消するものと錯覺を起し、憂慮する者あると聞が、消防組は決して解消するものでなく、防護團を包含し内容を強化することになり、消防隊には些かのゆるぎもないのであるから、市民は有事に際しての不安を除き、各々その職務に精勵すべきである。

一方消防組員にしても、改組後は職和組織を旨とし、相協力して市民の生命財産保護に當り、傳統的義勇奉公の消防精神を忘

野澤武藏

新文具御案内

マルトモ書店入荷品
スクラップブック .15以上 .85まで
新聞雑誌より発見された参考記事或は挿畫はもとより、カテゴリーパンフレット、通信コソビなど凡ゆる書類を按率貼付保存される事によつて所要の時適確に辭典以上の智慧袋となつて役立つ。これこそ、按率自由なもので、特殊なものも豊富に取揃へて御座います。御利用を御願ひ致します。

書類整理用

▲ルーベンスフハイル
▲タイムスレターフハイル
▲フハイパー パック
▲ドキュメント
▲レザール パック

書類を整理保存するのに理想的なものです。各種取揃へて御座います。故御来店の上御選び願ひます。



文魁文堂 特約店

鑄物の代用品生る

セメント製マンホール 金貳圓各種
同 風窓 網 金四角各種
平市南町二〇

野内商會

發賣元 野内商會 電話一一番

茶代廢止

旅館 甲陽館 平市・驛前 電話一四八番

最新流行の

下駄と草履

ドヨリモ安い 三井履物店
平南町 電話一八一番

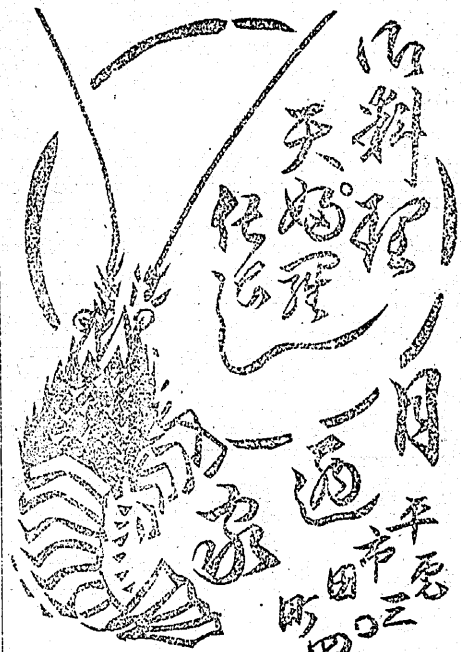
油と味噌

吉屋

平市古鍛冶町

電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎



漢方 生公華
貼藥 濕布で名藥
漢方 生公華
漢方 生公華
漢方 生公華

助膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス... 扁桃腺・中耳炎・骨膜炎・腰痛・痔疾に...

平市五丁目角 山野邊藥局

神經痛・ロイマチス
漢方 百草根
陸海軍病院御用藥
平代理店 丸龜商店
平市大町 電話一三三番

小兒科
吉田醫院
吉田正
四倉町(電話三〇番)
診療 午前九時より 午後五時迄

平市田町 (電話五一三番)
高久病院
院長 高久 忠
副院長 赤羽 清
藥局長 佐竹 菊雄
外科 花柳病科
内科 小兒科
耳鼻咽喉科

公債・債券
三井質店
平市四丁目 電話六〇六番

産科・婦人科
井坂醫院
平市田町 電話五五九番

内臓外科
北川外科
北川芳夫
醫學博士 北川 芳夫
平市新川町(電話四六四)

内臓外科
安齋醫院
院長 安齋 徹
醫學士 黒澤 廣
産婦人科
平市田町(電話四五七番)